

1 主屋取合部三階 土居葺

取合部の三階屋根の土居葺に取りかかった。

土居葺は在来の葺き方にならない、長さ1尺の杉の割板を用いて、葺き足2寸で葺いている。写真は平葺の状況。大棟の棟仕舞いは土間台所部の屋根と同じように、長さ2尺の板を2枚重ね、山形に伏せて納めた。

現在は土居葺も完了し、瓦を葺く準備を進めている。



2 主屋土間台所部・取合部 中庭縁側の組立

土間台所部の北側と取合部の西側には、矩折れに縁側が取り付く。縁側は切目縁で、外側に雨戸が建つ形式である。ここは雨漏りが酷く、土間台所部側は屋根が崩落してしまっていた。

部材の繕いも完了し、組み上げに取りかかった。これで主屋の軸組はすべて建ったことになる。屋根が崩落していたため、腐朽した部材の痕跡を頼りに、納まりを復原して進めている。



3 主屋取合部 東便所縁側の造作

すでに軸組を組み上げ終わった東便所部分に、そろそろ荒壁を付けたい。しかし便所南面は、東便所縁側の雨戸鴨居・敷居と取り合うため、先に縁側を組んでおく必要がある。

この縁側の南端には、木地の間縁側の雨戸戸袋が付く。この戸袋廻りの納まりがなかなか複雑で、ここでも腐朽した部材を頼りに、納まりを復原しながら進めている。

